

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://mylibrary.maeda1.jp/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0414

(注)本稿は 2017 年 6 月 13 日から 23 日まで 4 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

MENA(中東・北アフリカ)諸国の世界平和指数(2017 年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その12)

2017.6.24

前田 高行

目次	頁
1. 「The Global Peace Index」について	2
2. MENA 諸国の2017年「世界平和指数」	2
3. 2016年と2017年の比較	3
4. 2012年～2017年の世界順位の推移	4

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第12回のランキングは、NGO グループ Vision of Humanity が The Economist Intelligence Unit (EIU、英国の経済誌エコノミストの一部門)のデータをもとに取りまとめた「The Global Peace Index 2017」から MENA 諸国をとりあげて比較しました。

* Vision of Humanity のホームページ:

<http://visionofhumanity.org/app/uploads/2017/06/GPI-2017-Report-1.pdf>

1. 「The Global Peace Index」について

Global Peace Index は、各国の平和の程度およびそれを維持するための機能を指数化し、ランク付けしたものである。2007年に実施された第1回調査ではその対象は121カ国であったが、その後毎年着実に増え、今回の2017年版では163カ国を対象に調査が行われている。因みに MENA 諸国については19カ国1機関全てが評価付けされている。

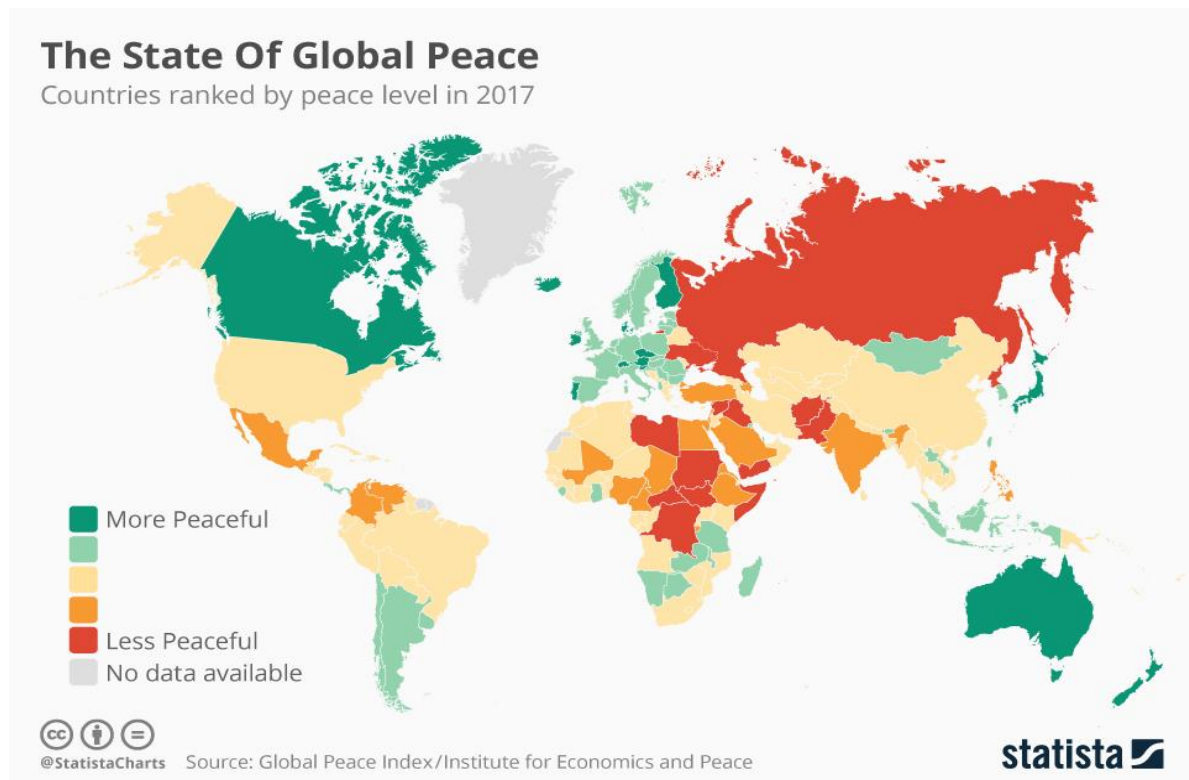
平和指数は EIU 社の国別調査員と外部ネットワークの協力を得て作成されている。指数は小型破壊兵器(銃、小型爆発物など)の入手の容易さ、国防費、汚職、人権に対する尊重の度合いなど24項目をベースにして作成されたものである。

「世界平和指数」の査定結果には以下のような特徴が見られる。

- ・ 平和の度合いは収入、教育制度、地域一体化のレベル等の指標に関連している。
- ・ 平和な国の多くは政府の透明性が高く、汚職が少ない。
- ・ 小さいが安定した国は平和のランクが高い。

(君主制国家が上位を占める MENA !)

2. MENA 諸国の2017年「世界平和指数」(末尾表 12-T01 参照)



(平和の世界地図: 青色 Very high、黄緑 High、黄色 Medium、オレンジ Low、赤 Very low)

MENA19カ国1機関の中で最も平和度が高いのはカタールであり、世界ランクでも163カ国中の30位と、MENA 諸国の中では唯一世界50位以内である。因みに世界で最も平和度が高いとされる国はアイスランドであり、日本は世界第10位である。

カタールに次いでMENA第2位はクウェイトで同国の世界ランクは58位、MENA 第3位は UAE(世界65位)である。4位以下はチュニジア(世界69位)、オマーン(同70位)、モロッコ(同75位)でこれら6か国が世界163か国中の上位グループに入っている。このほか世界100位以内にあるのはヨルダン(95位)であり、それ以外の12か国1機関は100位以下である。

世界100位以内で MENA 上位の国の顔ぶれを見るとチュニジア以外は全て君主制国家であることがわかる。これらの君主制国家はいずれも君主(国王または首長)が絶対的な権力を保持している。MENA は絶対君主制国家が命脈を保っている世界的にも珍しい地域であるが、そのような絶対君主制国家の平和度がイラン、トルコ、エジプト、イラクなどの共和制国家よりも高いことが MENA 地域の大きな特徴である。因みに同じ君主制国家でもバハレーン及びサウジアラビアの世界ランクはそれぞれ131位、133位とかなり低い。

MENA8位のアルジェリア以下の国々はいずれも世界100位以下であり、このため MENA の平和度の世界平均ランクは116位と極めて低い水準にある。MENA の大国であるイラン、エジプトおよびトルコはそれぞれ129位、139位、146位である。

世界140位台にはトルコその他イスラエル、パレスチナ自治政府、レバノンがひしめいている。イスラエルは経済、社会に関する世界ランクでは常に上位を占め、MENA 諸国の中でも1、2位を争っている¹が、平和度は世界144位と極めて厳しい評価である。さらにイラクは161位、シリアは世界最下位の163位であり「イスラーム国」などの過激組織と内戦状態にある両国は世界で最も平和度が低い。

因みに日本は上記の通り世界10位であるが、米国は世界114位とアルジェリアより低く、また中国は米国とほぼ同じ世界116位である。

なお平和指数ランクでは安全度に応じて Very high(非常に高い)、High(高い)、Medium(中程度)、Low(低い)及び Very low(非常に低い)の5段階に分類されている。日本は Very high であるが、MENA 地域ではカタール及びクウェイトの2カ国が High にランク付けされている他は、UAE、イランなど7カ国は Medium とされている(米国及び中国も同じ範疇である)。そしてサウジアラビア、エジプト、イスラエル、トルコ等は Low レベルとされ、リビア、イエメン、イラク、シリアの4カ国は最も低い Very low のレベルとされている。

(6割の国で平和指数が悪化！)

3. 2016年と2017年の比較 (末尾表 12-T02 参照)

今回と昨年の平和指数、世界ランク及び MENA 各国間のランクの変動を比較してみると、まず MENA の平均順位は昨年の117位に対し今年は116位でわずかながらアップしているが、平均指数のスコアは昨年の2.528に対して今年は2.537でありこちらはほんの少し悪化している。

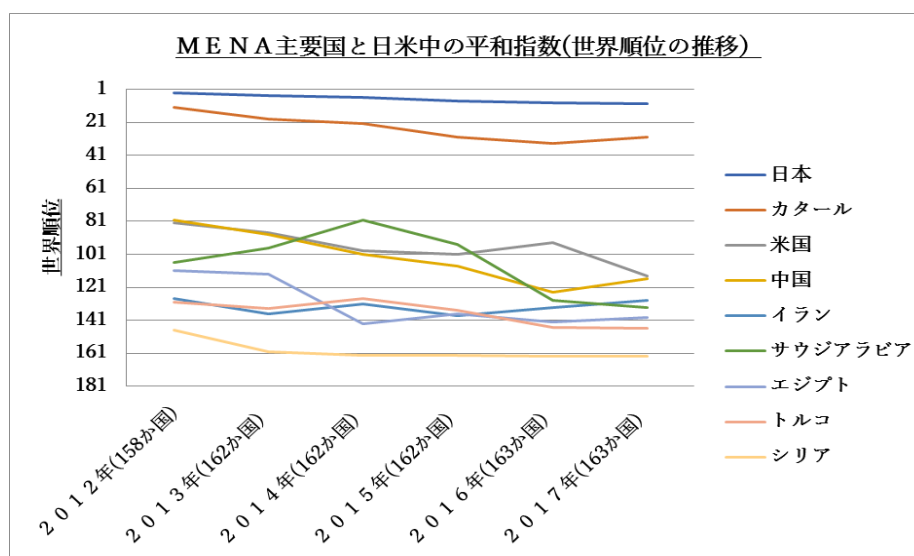
国別に見ると6割以上の国でスコアがさがっており、ランクもアップした国8か国に対し下げた国は9か国であり MENA 全体としては平和度が下がっていると言えよう。世界ランクの下がり方が大きかったのはクウェイト(世界51位→58位)、チュニジア(世界64位→69位)、UAE(世界61位→65位)、サウジアラビア(世界129位→133位)などであり、一方モロッコは昨年の91位から今年は75位に大幅に上昇しており、またカタール(世界34位→30位)、オマーン(世界74位→70位)、イラン(世界133位→129位)の各国も順位を上げている。君主制国家は順位の上がった国と下がった国が二分し明暗を分けている。

トルコはスコア(2.752→2.777)、ランク(145位→146位)共に安全度が下がっており、エジプトはスコアはわずかながらダウンしたものの世界順位は142位から139位に上がっている。これに対してトルコ、エジプトと並ぶ中東の大国イランはスコア(2.411→2.364)は改善し、世界ランクも133位から129位にアップしている。3か国の評価が分かれる理由は、トルコ、エジプトでイスラム過激派によるテロ事件が止まらないことに比べ、イランはテロ事件が少なく(但し最近テヘランのモスクでテロ事件が発生している)また経済制裁緩和で国内に平和の機運が高まっていることの表れと考えられる。

MENA の下位国を見ると、シリアは2年連続で最下位である。イラクも連続して世界161位にとどまっているがスコアは3.570から3.556へと少し改善している。その他内戦に揺れるリビア及びイエメンあるいはイスラーム国(IS)の影響を受けているレバノンの3か国はスコア及び世界ランクのいずれもが悪化している。

(サウジアラビア、トルコを追い抜いたイラン！)

4. 2012年～2017年の世界順位の推移 (末尾表 12-T03 参照)



ここでは MENA6か国(カタール、サウジアラビア、イラン、エジプト、トルコ、シリア)と日本、米国及び中国について2012年から2017年までの順位の変動を見てみよう。

前年に「アラブの春」の騒乱が発生し

た2012年の6カ国の世界順位はそれぞれ、カタール12位、サウジアラビア106位、エジプト111位、イラン128位、トルコ130位、シリア147位であり、カタールが飛び抜けて高く、シリアが6カ国の中では最もランクが低かった。カタールはその後の6年間も MENA のトップであるが、年ごとの推移を見ると19位(‘13年)→22位(‘14年)→30位(‘15年)→34位(‘16年)→30位(‘17年)とほぼ毎年順位を下げ現在は世界30位台に停滞している。またシリアは2013年に世界最下位に転落するとその後5年連続で最下位に甘んじている。

サウジアラビアは順位の変動が幅が大きく2012年の106位から2014年には80位まで上昇したが、その後は95位(‘15年)→129位(‘16年)→133位(‘17年)と年々順位が下がり2017年は過去6年間で最も悪い。これに対してイランは順位の変動が小さく130位台前後を保持している。トルコは2012年から2015年までイランとほぼ同じ順位を維持していたが、2014年からの下落傾向が止まらず、2016年は145位、2017年は146位でありイランとの格差が広がっている。エジプトは2012年、2013年は110位台であったが翌年以降は140位前後に落ちている。

日本の順位の変遷は3位(2012年)→5位(2013年)→6位(2014年)→8位(2015年)→9位(2016年)→10位(2017年)と6年連続でベストテンに入っているものの低落傾向が見られ、今回はベストテンぎりぎりであり今後が懸念される。米国と中国は共に2012年は80位台前半、2013年は同後半台、2014年は100位前後と同じような足取りであったが、2016年には米国94位に対し、中国は124位と格差が開いた。しかし2017年は米国114位、中国116位と再び肩を並べている。本稿冒頭に説明した通り平和指数は小銃など小型兵器の入手の容易さ、人権に対する尊重の度合いなど24項目をベースに作成されているが、米国及び中国の世界ランクが100位以下と低いのは米国が兵器の入手、中国が人権の尊重でそれぞれ問題を孕んでいることを反映しているものと思われる。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-Mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

世界平和指数ランキング(2017年)

国名	安全度	スコア	世界ランク	MENA ランク
カタール	High	1.664	30	1
クウェイト	High	1.909	58	2
UAE	Medium	1.944	65	3
チュニジア	Medium	1.977	69	4
オマーン	Medium	1.983	70	5
モロッコ	Medium	2.004	75	6
ヨルダン	Medium	2.087	95	7
アルジェリア	Medium	2.201	109	8
イラン	Medium	2.364	129	9
バーレーン	Low	2.404	131	10
サウジアラビア	Low	2.474	133	11
エジプト	Low	2.583	139	12
イスラエル	Low	2.707	144	13
パレスチナ自治政府	Low	2.774	145	14
トルコ	Low	2.777	146	15
レバノン	Low	2.782	148	16
リビア	Very low	3.328	157	17
イエメン	Very low	3.412	159	18
イラク	Very low	3.556	161	19
シリア	Very low	3.814	163	20
(MENA 平均)		2.537	116	
対象国数			163	
日本	Very high	1.408	10	
(世界 1 位)アイスランド	Very high	1.111	1	
米国	Medium	2.232	114	
中国	Medium	2.242	116	
(世界最下位)シリア	Very low	3.814	163	

Source:<http://visionofhumanity.org/>

世界平和指数ランキング(2017年 VS 2016年)

国名	2017年		2016年		2016/2017年比較	
	スコア	世界ラン ク	スコア	世界ラン ク	スコア	世界ラン ク
カタール	1.664	30	1.716	34	0.052	4
クウェイト	1.909	58	1.842	51	▲ 0.067	▲ 7
UAE	1.944	65	1.931	61	▲ 0.013	▲ 4
チュニジア	1.977	69	1.949	64	▲ 0.028	▲ 5
オマーン	1.983	70	2.016	74	0.033	4
モロッコ	2.004	75	2.086	91	0.082	16
ヨルダン	2.087	95	2.127	96	0.040	1
アルジェリア	2.201	109	2.213	108	0.012	▲ 1
イラン	2.364	129	2.411	133	0.047	4
バーレーン	2.404	131	2.398	132	▲ 0.006	1
サウジアラビア	2.474	133	2.338	129	▲ 0.136	▲ 4
エジプト	2.583	139	2.574	142	▲ 0.009	3
イスラエル	2.707	144	2.656	144	▲ 0.051	0
パレスチナ自治政府	2.774	145	2.832	148	0.058	3
トルコ	2.777	146	2.752	145	▲ 0.025	▲ 1
レバノン	2.782	148	2.752	146	▲ 0.030	▲ 2
リビア	3.328	157	3.200	154	▲ 0.128	▲ 3
イエメン	3.412	159	3.399	158	▲ 0.013	▲ 1
イラク	3.556	161	3.570	161	0.014	0
シリア	3.814	163	3.806	163	▲ 0.008	0
(MENA 平均)	2.537	116	2.528	117	▲ 0.009	0

世界平和指数ランキング(2012年～2017年)

国名	世界ランク					
	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
カタール	12	19	22	30	34	30
クウェイト	48	37	37	33	51	58
UAE	46	36	40	49	61	65
チュニジア	72	77	79	76	64	69
オマーン	59	45	59	74	74	70
モロッコ	54	57	63	86	91	75
ヨルダン	62	52	56	71	96	95
アルジェリア	121	119	114	104	108	109
イラン	128	137	131	138	133	129
バーレーン	118	95	111	107	132	131
サウジアラビア	106	97	80	95	129	133
エジプト	111	113	143	137	142	139
イスラエル	150	150	149	148	144	144
パレスチナ自治政府	-	-	-	-	148	145
トルコ	130	134	128	135	145	146
レバノン	136	142	146	145	146	148
リビア	147	145	133	149	154	157
イエメン	143	152	147	147	158	159
イラク	155	159	159	161	161	161
シリア	147	160	162	162	163	163
(MENA 平均)	102	101	103	108	117	116
対象国数	153	158	162	162	163	163
日本	3	5	6	8	9	10
世界1位	アイスランド	アイスランド	アイスランド	アイスランド	アイスランド	アイスランド
米国	82	88	99	101	94	114
中国	80	89	101	108	124	116
世界最下位		ソマリア	アフガニスタン	シリア	シリア	シリア

1 例えば UNCTAD 「人間開発指数」、WEF 「男女格差」は MENA1 位、世銀 「ビジネス環境」は MENA2 位等。

<http://menarank.maeda1.jp/11-T01.pdf>

<http://menarank.maeda1.jp/8-T01.pdf>

<http://menarank.maeda1.jp/13-T01.pdf>